2016/09/18 第１６回丹後１００ｋｍウルトラマラソンに参加して

奥野　孝

丹後 100 キロ参加は今年で 4 年連続 6 回目となります。初参加が 14 年前の第２回大会ではタイムは１３時間１５分で、昨年の大会では１０時間５３分とはじめて１０時間代でゴールできました。今年の夢は大きくサブ１０いくぞ！の思いで家を出発しました。

昨夜の夕食を食べすぎたせいかスタート３０分前に腹の調子がおかしくなり、トイレに並んで用を足し終えたのはスタート２分前の最後尾からのスタート。いけるところまでキロ５分で行こうと決め、２０キロ１時間４０分、復路の七竜峠は無理せずスピードを落として４０キロで３時間３０分。ここまでは考えていた通りの展開でしたが、峠を下りきった４３キロの浅茂川エイドで疲れがどっとでて、まだ半分以上残っていると思うと不安になってきます。

コース最大の難所、碇高原上り口５８キロまでは５分半くらいでふんばれたものの、上り始めると足が思うように動かず戦意喪失。そんな所へ私設エイドで手を降っている KTC の石田さん、鶴田さんを発見。他のクラブの応援も兼ねてやってきたらしい。苦しい時に知った人と出会い、話をすると不思議と力が湧いてきます。遠方からわざわざ感謝です。

碇高原頂上のエイドにふらふらとたどり着き、長い下り坂で７５キロ看板を通過した時に時計を見ると７時間３０分経過。え！キロ６分弱で走れば１０時間がきれるぞ！体にアドレナリンが回り始めた瞬間です。人間、目標が見つかれば普段想像もできないような力が出てくるのですね。後は私をこのスピードでゴールまで無事運んで下さい、と神頼みの心境です。

ところがドラマのようにいかないのが厳しい現実なのです。残り１０キロを切った所で現れた長いだらだら坂（今回からの新コースです）を見た瞬間、ブチッという音？と共に気持ちが折れてしまい、耐えていた疲れがどっと噴出し、鉛のよう重くなった体を一歩一歩前へやるのが精一杯となりました。おまけ朝から降りそうで降らなかった雨がここぞとばかりに豪雨となって降り注ぎ、ふらふらになりながらのゴールは１０時間１３分でした。

サブ１０の背中を見ることが出来ただけでも良かったですが、改めてその壁の大きさを実感しました。また KTC サブトレ練習会で上崎師匠（通称ウエショウ）に引っぱってもらい来年に向けて仕切り直しです。